

 **AUTOBACS**  
**GPR**  
KARTING SERIES  
2026

# MOTEGI ROUND RACE REPORT



2026年 全日本カート選手権 OK部門 第1戦・第2戦

2026年 ジュニアカート選手権 ジュニア部門 第1戦・第2戦

2026年 ジュニアカート選手権 ジュニアカデット部門 第1戦・第2戦

2026年 Rok CUP JAPAN GPR RokSHIFTER 第1戦・第2戦



2026年4月18日～19日  
モビリティリゾートもてぎ



# OK Class

## 『第1戦:松居寿來、ポールtoウィンでデビューを飾る』

20台が集まったOKクラス。今季は有望なルーキーも多数参戦し、フレッシュな顔ぶれでのシーズンとなる。日曜朝に行われたタイムトライアルでは、ルーキーの横山輝翔(HIROTEX RACING)が全体トップでスーパーポールへ進出。以下、松居寿來(K.SPEED WIN)、國岡光貴(ガレージC)、三村壮太郎(PAROLIN JAPAN)、坂野太紘(TEAM EMATY)、元田心絆(YAMAHA MOTOR Formula Blue)、皆木駿輔(K.SPEED WIN Drago CORSE)、手塚大雅(Zi-ViVrre RT)の8人がスーパーポールへと進出した。スーパーポールでは松居がトップタイムをマークし、第1戦の決勝PPを獲得した。第1戦決勝、好スタートを見せたのはPPの松居。それを元田、皆木、横山らが追っていく。松居は、トップをキープしながら前半から中盤までラップリーダーを記録し続け、安定した走行を続けていく。次第に2番手元田との間隔も開いていき、独走体制を固めていく。終盤に入ると、ピットクルーからは次のレースへ向けペースダウンの指示付が出されるほどの一方的な展開となり、松居は指示にしたいがペースを落としたものの、それでも後続が追いつくことはなく、独走のままチェッカー。全日本最高峰クラスでデビューウインを飾った。

優勝ドライバー:松居 寿來 (No.28 K.SPEED WIN)

「今までで一番うれしいです。全日本の一番上のクラスでデビューウインができて嬉しいです。最初プッシュして逃げて、後半はタイヤを温存しようと考え、その通りに走れました。」

## 『第2戦:今度は接戦をものにした松居が2連勝!』

第2戦のPPは第1戦ファステストラップを記録した松居。2番手にチームメイトの菊池貴博(K.SPEED WIN)が続く。レースもこの2人が好スタートで1-2を維持。菊池の後方には横山が迫り、やや離れて、元田が続く展開となる。松居のアドバンテージは第1戦のときほどにはなく、大きな差をつけられないままレースは終盤へと突入していく。しかし、レースが残り1周になろうとする25周目の最終セクションで、菊池のマシンのエンジンが焼きつき失速したところに横山が追突。これで両者がリタイアとなり、松居が独走となってチェッカー。この日を完璧にまとめる2連勝を達成した。2位には元田、3位に手塚が入った。

優勝ドライバー:松居 寿來 (No.28 K.SPEED WIN)

「2連勝できてとても嬉しい。後ろがついてきていたのでプレッシャーもあったけど勝ててうれしいです。自分もびっくりするくらい完璧な一日だったと思います。チャンピオン獲れるように、速いドライバーになれるよう取り組んでいきたいです。」



# Junior Class

## 『第1戦:藤原迪永が逆転優勝!』

ジュニアクラスには11台が参加。タイムトライアルでは北中一季(HIROTTEX RACING with IMPUL)、林樹生(HIROTTEX RACING with IMPUL)とHIROTTEX勢が1-2を占める。今季から導入された予選ヒートでは、北中がトップフィニッシュを果たし、決勝PPを獲得した。第1戦の決勝では、セカンドグリッドの林がローリング中に失速しそのままストップ。戦列を離れることとなる。ホールショットは北中が獲得。その後方に藤原迪永(SD-STYLE)、飯田一仁(TAKAGI PLANNING)らが続いていく。さらに、TT最下位から予選で挽回してきた新橋武(Sigma Racing)もトップ争いに加わってくる。9周目、早くも仕掛けた藤原がトップに浮上する。新橋も2番手に上がり藤原を追っていく。しかし、負にわらに付け入るスキアはなく、そのままフィニッシュ。ジュニアクラスのデビューレースを優勝で飾った。新橋は2番手フィニッシュだったもののフロントフェアリングペナルティで降格となり、北中が2位、ユン・イサック(TEAM EMATY)が3位表彰台を獲得した。

優勝ドライバー:藤原 迪永 (No.37 SD-STYLE)

「TTはミスで下位に沈んでしまい、予選もミスが多かったのですが、決勝ではそれを直して1位が獲れました。午後も今回と同じように順調の1位を獲りたいです。」

## 『第2戦:林樹生が復活の優勝!』

第2戦のPPは新橋、隣には藤原が並ぶ。新橋は好スタートでレースをリード。後方には飯田、イサック、北中と続き、藤原はペースが上がらず後退していく。その藤原に代わって上位に進出してきたのが、第1戦で走れず最後尾スタートになった林。第1戦に走っていないためタイヤの状態がいいことも味方し、次々と順位を挽回していく。終盤にはトップの新橋に追いつき、一騎討ちへ。3コーナー、ヘアピン、最終セクションとインにノーズを入れながらプレッシャーを与えていくが、なかなかバッシングには至らない。そのまま新橋がトップをキープしてフィニッシュ。しかし、新橋は幅寄せのペナルティを取られ3秒加算となり3位へ降格。林が繰り上がりながらも優勝を飾った。

優勝ドライバー:林 樹生 (No.98 HIROTTEX RACING with IMPUL)

「順調に抜いてこられたので良かったけど、1位でゴールしたかったです。タイヤも1ヒート走っていない分残っていたのでよかった。鈴鹿でも2連勝できるようにしたい。」



# Cadets Class

## 『第1戦:横井愛到が独走で優勝!』

カデットクラスは20台が参加。タイムトライアルでは横井愛到(Team EMATY)がトップタイムをマークする。今季からは予選ヒートも行われ、その予選では横井が独走でトップチェッカー。決勝PPを獲得した。第1戦決勝、横井を1周目の3コーナーで加納康裕(TOP LABO)がかわすが、すぐに逆転。その後も幾度も順位を入れ替える。3番手には丹羽舜也(LUCE MOTOR SPORTS)、内田丈一郎(RT WORLD)らが続いていく。そこに鈴木秀也(チームTKC)も加わり、丹羽とバトルを展開。その間に横井がリードを広げていく。終盤には大きなリードを得た横井は、独走のままチェッカーを迎え、GPRデビューウィンを達成。2位に鈴木、3位に丹羽が入った。

### 優勝ドライバー:横井 愛到 (No.26 TEAM EMATY)

「スタートが少し良くなかったのですが、戻ってこられてよかったです。他の選手も迫ってくるなかでも落ち着いて走れました。次のレースもこういった形で勝ちたいと思います。」

## 『第2戦:第2戦も横井が独走優勝!』

第2戦の決勝、ホールショットは横井が獲得するが、またも加納が襲いかかりオープニングラップに逆転。まずは加納がトップでオープニングラップを終える。4周目、横井が加納をかわしトップへと復帰する。すると次第に加納を引き離していき、徐々に独走体制を固めていく。後方には加納、丹羽、鈴木と続いたが、鈴木は7周目にスピンを喫し後退する。その後、丹羽が2番手に上がり丹羽、加納、内田のオーダーで周回を重ねていく。この3台がバトルをしたことも横井を助け、横井は完全に抜け出すことに成功。そのまま独走で開幕2連勝を飾った。2位には終盤逆転した加納、3位に丹羽が入った。

### 優勝ドライバー:横井 愛到 (No.26 TEAM EMATY)

「嬉しいです。抜かれたときはちょっとびっくりしたけど、焦らずに走れて良かったです。これからもずっと優勝したいです。」



# Shifter Class

## 『第1戦:横山優之介、デビューウィン!』

シフタークラスは当初8台がエントリーしたものの、他のレースとの日程重複もあり参加は5人。若手選手中心の布陣となった。タイムトライアルでトップタイムをマークしたのは、昨年までOKクラスに参戦し、今季からシフターへと転向した横山優之介(TAKAGI PLANNING)。従来のコースレコードを更新し、決勝PPを獲得した。スタートが鍵となるシフタークラス。第1戦も注目されたが、横山はきれいなスタートを決め、ホールショットを獲得。2番手には大和田夢翔(HRT)、3番手にこちらもシフターデビューの松尾終磨(brioly racing)が続く。横山は次第に大和田を引き離していくと、10周目を過ぎた頃には約3秒のリードを構築。さらに差を広げていき、そのまま独走でチェッカー。GPRシフターデビューを優勝で飾った。

### 優勝ドライバー:横山 優之介 (No.21 TAKAGI PLANNING)

「2023年の全日本最終戦以来の優勝で嬉しいです。鈴鹿選手権でストールさせていたので、スタートは不安もありましたが、克服できてよかったです。ユーズドでのペースには自信がなかったのですが、引き離せて勝ててよかったです。調子に乗らずに、スタートを決めて次も勝ちたいです。」

## 『第2戦:大和田夢翔が雪辱の優勝!』

第2戦決勝のフロントローはPP横山、2nd大和田夢翔と第1戦と同じ顔ぶれとなる。しかし、今度スタートを決めたのは大和田。アウト側から鋭く加速すると1コーナーを先にクリア。そのまま横山を引き離していく。中盤以降は、横山も差を縮めていくものの、一度開いた差を縮めきることはできない。大和田も安定したペースで周回を重ねていくと、横山の接近を許さずにチェッカーを迎え、第1戦の雪辱となる優勝を飾った。

### 優勝ドライバー:大和田 夢翔 (No.9 HRT)

「最後追いつかれて苦しかったけど、最後まで押しきれてよかったです。セット変更が当たってタイヤの食いつきが良くなったことが結果につながったと思います。」



# Point Standings – OK

※有効ポイント:全10戦中8戦

OK					MOTEGI 4/19				SUZUKA 5/31				MOTEGI 6/28				GOTEMBA 8/30				SUZUKA 11/15			
Pos.	Name	Team	有効	合計	Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
					Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.
1	松居 寿来	K.SPEED WIN	50	50	1	25	1	25																
2	元田 心絆	YAMAHA MOTOR Formula Blue	44	44	2	22	2	22																
3	皆木 駿輔	K.SPEED WIN DragoCORSE	34	34	4	18	5	16																
4	手塚 大雅	Zi-Vivre RT	32	32	9	12	3	20																
5	三村 壮太郎	PAROLIN JAPAN	30	30	6	15	6	15																
6	横山 輝翔	HIROTEX RACING	20	20	3	20	14	0																
7	坂野 太紘	TEAM EMATY	18	18	10	0	4	18																
8	國岡 光貴	GARAGE C	16	16	5	16	15	0																
9	本間 詠吉	K.SPEED WIN	14	14	16	0	7	14																
10	田中 照久	GLEATEQ Motorsports	14	14	7	14	DQ	0																
11	菊池 貴博	K.SPEED WIN	13	13	8	13	13	0																
12	吉田 侍玄	YAMAHA MOTOR Formula Blue	13	13	14	0	8	13																
13	服部 颯空	YAMAHA MOTOR Formula Blue	12	12	12	0	9	12																
14	アヌチャットクル ポルシュ	AP SPEED	11	11	17	0	10	11																
-	中里 豪太	AMEROID PAROLIN JAPAN	0	0	15	0	11	0																
-	中西 凜音	Tony Kart R.T.J.	0	0	11	0	DNF	0																
-	イムラツブパンヤ ナドル	AP SPEED	0	0	19	0	12	0																
-	ブリュドン マキシム	Energy JAPAN teamREGOLITH	0	0	13	0	DNF	0																
-	アンダーヤ マイケル	K.SPEED WIN	0	0	18	0	16	0																
-	中里 龍昇	Tony Kart R.T.J.	0	0	DNS	0	DNF	0																

# Point Standings – Junior

※有効ポイント:全10戦中8戦

Junior					MOTEGI 4/19				SUZUKA 5/31				MOTEGI 6/28				GOTEMBA 8/30				SUZUKA 11/15			
					Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
Pos.	Name	Team	有効	合計	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.		
1	北中 一季	HIROTEX RACING with IMPUL	44	44	2	22	2	22																
2	藤原 迪永	SD-STYLE	41	41	1	25	5	16																
3	ユン イサック	TEAM EMATY	38	38	3	20	4	18																
4	林 樹生	HIROTEX RACING with IMPUL	25	25	DNS	0	1	25																
5	新橋 武	Sigma Racing	20	20	8	0	3	20																
6	飯田 一仁	TAKAGI PLANNING	18	18	4	18	7	0																
7	久田 朱馬	ガレージC	16	16	5	16	8	0																
-	今村 昂星	Vitec Racing	0	0	7	0	6	0																
-	阿部 瑠緒	ミツサダ PWG RACING	0	0	6	0	9	0																
-	樋月 宣成	brioly racing	0	0	9	0	11	0																
-	キム ミンジェ	Peak Performer Racing	0	0	10	0	10	0																

# Point Standings – Cadets

※有効ポイント:全10戦中8戦

Cadets					MOTEGI 4/19				SUZUKA 5/31				MOTEGI 6/28				GOTEMBA 8/30				SUZUKA 11/15			
					Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
Pos.	Name	Team	有効	合計	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.		
1	横井 愛到	TEAM EMATY	50	50	1	25	1	25																
2	加納 康裕	TOPLABO	40	40	4	18	2	22																
3	丹羽 舜也	LUCE MOTOR SPORTS	40	40	3	20	3	20																
4	内田 丈一郎	RT WORLD	33	33	6	15	4	18																
5	渡部 慎乃亮	REON RACING TEAM	29	29	5	16	8	13																
6	中野 湊斗	FORZA RKS	28	28	7	14	7	14																
7	花淵 玲皇	ガレージC	23	23	10	11	9	12																
8	鈴木 秀弥	チームTKC	22	22	2	22	14	0																
9	ユン ダニエル	TEAM EMATY	16	16	19	0	5	16																
10	新橋 彩加	Sigma Racing	15	15	11	0	6	15																
11	小関 朱晴	ミツサダ PWG RACING	13	13	8	13	11	0																
12	水口 志晴	HIGUCHI RACING TEAM	12	12	9	12	15	0																
13	宮良 凰玄	ガレージC with NIC	11	11	14	0	10	11																
-	森 湊	Peak Performer Racing	0	0	15	0	12	0																
-	今村 颯星	HIGUCHI RACING TEAM	0	0	12	0	18	0																
-	添戸 暖	LUCE MOTOR SPORTS	0	0	13	0	13	0																
-	中澤 悠	SPS川口	0	0	16	0	16	0																
-	早川 航	SPS川口	0	0	17	0	20	0																
-	稲田 慧	SPS川口	0	0	DNS	0	17	0																
-	吉田 達貴	SPS川口	0	0	18	0	19	0																



# Point Standings – TEAM

Cadets		
Pos.	Team	合計
1	TEAM EMATY	50
2	TOPLABO	40
3	LUCE MOTOR SPORTS	40
4	RT WORLD	33
5	REON RACING TEAM	29
6	FORZA RKS	28
7	チームTKC	22
8	Sigma Racing	15
9	ミツサダ PWG RACING	13
10	HIGUCHI RACING TEAM	12
11	ガレージC	12
12	ガレージC with NIC	11
-	Peak Performer Racing	0
-	SPS川口	0

Junior		
Pos.	Team	合計
1	HIROTEX RACING with IMPUL	47
2	SD-STYLE	41
3	TEAM EMATY	38
4	Sigma Racing	20
5	TAKAGI PLANNING	18
6	ガレージC	16
-	ミツサダ PWG RACING	0
-	Vitec Racing	0
-	brilyo racing	0
-	Peak Performer Racing	0

OK		
Pos.	Team	合計
1	K.SPEED WIN	50
2	YAMAHA MOTOR Formula Blue	44
3	K.SPEED WIN DragoCORSE	34
4	Zi-Vivre RT	32
5	PAROLIN JAPAN	30
6	HIROTEX RACING	20
7	TEAM EMATY	18
8	GARAGE C	16
9	GLEATEQ Motorsports	14
10	AP SPEED	11
-	Tony Kart R.T.J.	0
-	Energy JAPAN teamREGOLITH	0
-	AMEROID PAROLIN JAPAN	0

Shifter		
Pos.	Team	合計
1	HRT	47
2	TAKAGI PLANNING	47
-	brilyo racing	0

**NEXT ROUND »» SUZUKA CIRCUIT SOUTH COURSE  
2026.05.30 (Sat) - 31 (Sun)**

**MORE DETAIL »» <https://www.gpr-race.com/>**

